

ユニバーサルホッケー

歴史(発祥の地=千葉)

中世ヨーロッパに端を発した氷上のスポーツで、バンディというステックスポーツがありました。これがアイスホッケーや室内ホッケー、そしてグラウンドホッケーに姿を変えていきました。

ユニバーサルホッケーは、このホッケー形式のスポーツを子供から大人まで誰にでも安全で手軽に楽しめるよう考案されたチームスポーツです。

このスポーツは千葉県習志野市で誕生し、全国に普及しているスポーツです。

プレイの仕方

ゲームはまず「フェイスオフ」ではじめます。両チームから1名ずつの選手がセンターライン中央に置いたボールを審判の合図によってスティックで取り合うことでゲームがスタートします。

ボールをスティックでドリブルやパスをし、相手ゴールへシュート。決まれば1点です。

チームは、6人のプレーヤーで行いますが、さらに6人の交代メンバーをおき、12人まででチームをつくれます。メンバー交代自由、ルールは簡単、しかも安全。老若男女混合で、すぐにゲームが楽しめます。

ルール(主な反則)

【フリーストロークが与えられる反則】

- ・ 足でボールをキックする (キッキング)
- ・ スティックのブレードを膝より高く振り上げる (ハイスティック)
- ・ スティックを投げる (スローイング ザ スティック)
- ・ 相手のゴールエリアに足を踏み入れてプレーする (ステップイン オフェンス)
- ・ 相手チームのプレーヤーを押ししたり、つかまえたり、蹴ったり、身体でタックルなどする (チャージング)

【ペナルティストロークが与えられる反則】

ペナルティストロークは相手チームのゴールラインより7mの地点 (ペナルティポイント) よりゴールに向かって1度だけシュートすることができます。

- ・ ゴールエリアに足やスティックなど踏み入れて守る (スティックイン ディフェンス)
- ・ ゴールポストの中にスティックを入れて守る (スティック イン ゴール)
- ・ ゴールポストを故意に動かす (プッシング ザ ゴール)
- ・ その他故意や粗暴なプレーに対してレフリーの判断で与えられる (オブストラクション)

